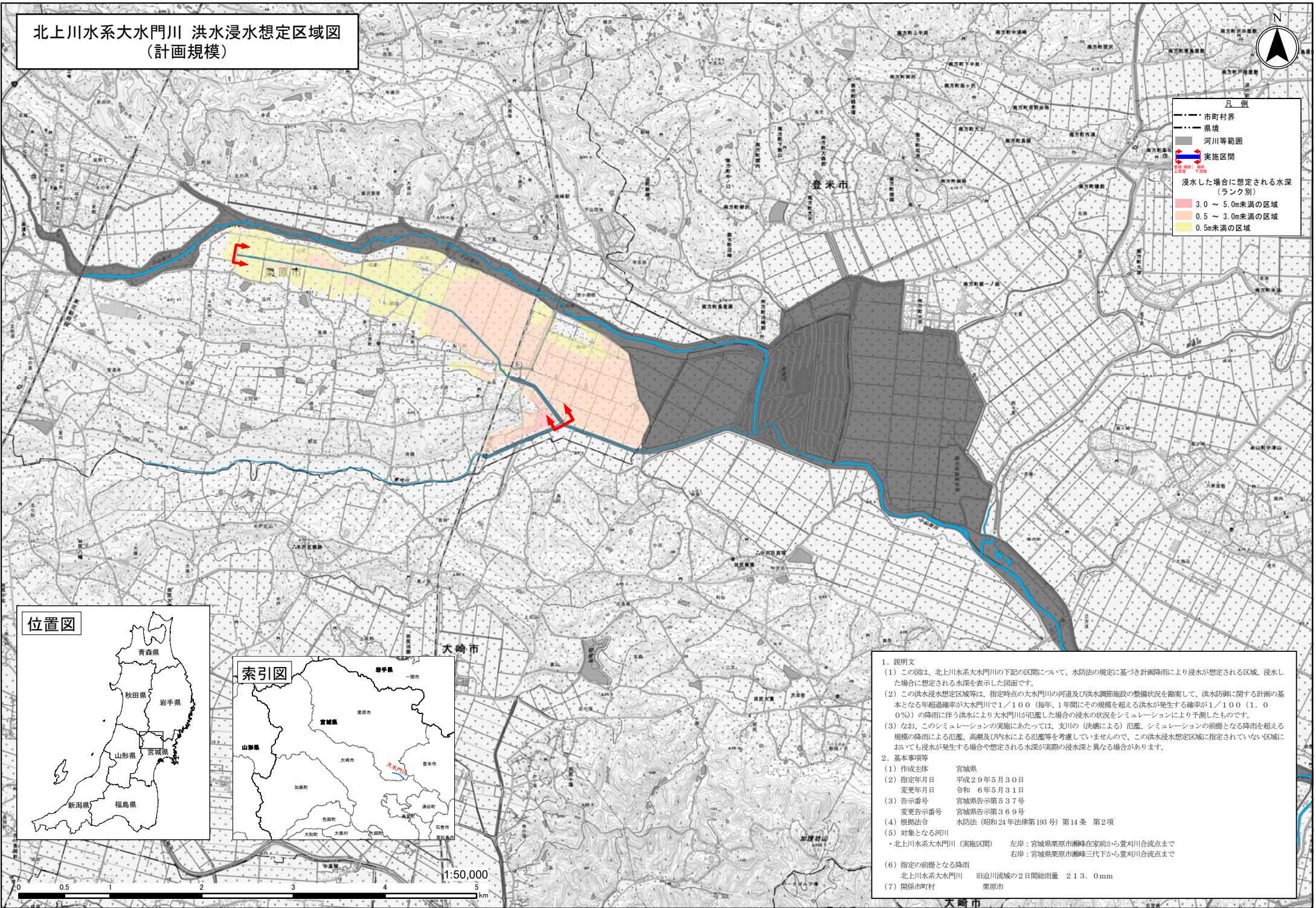


北上川水系大水門川 洪水浸水想定区域図
(計画規模)

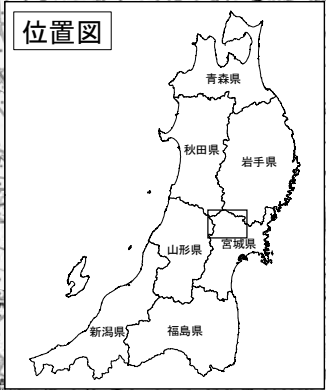


凡例

- 市町村界
- 県境
- 河川等範囲
- 実施区間

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 3.0 ~ 5.0m未満の区域
- 0.5 ~ 3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域



1. 説明文

- この図は、北上川水系大水門川の下記の区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域等は、指定時点の大水門川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防範に関する計画の基本となる年超過確率が大水門川で1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1.00%））の降雨に伴う洪水により大水門川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体	宮城県
(2) 指定年月日	平成29年5月30日
変更年月日	令和6年5月31日
(3) 告示番号	宮城県告示第537号
変更告示番号	宮城県告示第369号
(4) 根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条 第2項
(5) 対象となる河川	・北上川水系大水門川（実施区間） 左岸：宮城県栗原市瀬峰在家前から荻刈川合流点まで 右岸：宮城県栗原市瀬峰三代下から荻刈川合流点まで
(6) 指定の前提となる降雨	北上川水系大水門川 旧道川流域の2日間総雨量 213.0mm
(7) 関係市町村	栗原市

1:50,000

